

令和5年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立久保中学校	校長	瀬戸 智	生徒指導主事	新田 祐介
取組事例名	『愛拶』BINGO				

1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
久保中学校の生徒会スローガンである「愛のある愛拶」(※挨拶＝愛拶)を活性化するために生徒会執行部が企画・実践した取組。「愛拶」であふれる温かい雰囲気为学校作りを目指すだけでなく、他学年・異性・教員と共感的人間関係を築く基礎づくりをねらいとしている。	生徒会を中心とした活動を通じて、主体的に行動する生徒の育成を図るとともに、互いに愛のある挨拶「愛拶」を交わすことで、他者と共感的人間関係を築くことができる生徒。



2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫
1 愛拶BINGOの準備 - 期間の設定 - BINGOシート作成 →生徒が持ち運びしやすいようにポケットにはいる大きさのシートにした。他学年や異性、教員との関わりが増えるようにBINGOのお題を工夫した。	生徒にめあてをもたせるために生徒集会にて、生徒会執行部が全校生徒に取組の内容・目的・思いを伝えて開始する。単に、愛拶を求めるだけでなく。様々な愛拶の形(いつ・だれに・どんな風に)を意識させるために、具体をBINGOのお題にした。
2 愛拶BINGOの説明 生徒集会で呼びかけてHRにてBINGOシート配付。	生徒の意欲を高めるためにBINGO形式にして、BINGOの達成を目指すことや、全てのマスを埋めたいという気持ちを引き出して意欲的に取組に参加させた。
3 愛拶BINGO実施(5日間)	生徒の頑張りを認め、価値付けるためにBINGOの達成数を集約して、達成数が多い生徒を周知するとともに達成数の上位のクラスを発表して、生徒個人の頑張りと集団での取組の成果を評価した。
4 愛拶BINGO集計 BINGO数に応じて表彰をする	



3 成果と課題

【生徒アンケート「自分から愛拶をしている」の肯定的な回答の割合】	
1年	2年 3年
7月 80% 90% 81%	
12月 80% 95% 81%	(2年+5ポイント上昇)
【成果】	
BINGOのお題を達成することを目標に、様々な愛拶の形に挑戦した生徒が増え、笑顔で愛拶をする様子が見られた。2年生は特に愛拶を意識して活動に参加することができた。	
【課題】	
構想・準備・計画期間が長くなり、実施期間が短くなってしまったため、学校全体で大きな効果があるような取組にならなかった。	